

平成二十一年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十一年五月一日～平成二十一年七月末
投句数 二、四三八句

特選三句

天

あじさいや北鎌倉で降りようか

東京都文京区 福地 孝

地

青嵐一の鳥居はゆるぎなし

埼玉県狭山市 古谷多賀子

人

葉おもてに出てより急ぐ蝸牛

神奈川県横須賀市 阿部 文彦

入選句

一般の部

江ノ電に並ぶ園児の夏帽子

神奈川県鎌倉市

青木富美子

梔子の雨に動ぜぬ白さかな

東京都杉並区

稲垣克巳

たまゆらの色を織りなす虹の橋

東京都世田谷区

大津三典

観音の慈顔を仰ぐ寺若葉

千葉県習志野市

小川辰也

天空は北斗地上は草螢

東京都練馬区

勝田剛史

山寺に池は見えねど蛙鳴く

東京都町田市

竹内弘

百畳の方丈開くやほととぎす

神奈川県横浜市港北区

中山夏美

露座仏に堂を建てたし日の盛り

大阪府大阪狭山市

羽根田博

建長寺立夏の雨に煙りけり

神奈川県茅ヶ崎市

深瀬和子

風鈴に一筋の風雨あがり

千葉県船橋市

前原慶輔

紫陽花やお色直しの通り雨

東京都世田谷区

道下久美子

鎌倉の海青ければ白子干

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

紫陽花も観音様も雨にぬれ

神奈川県横須賀市

吉岡富美子

些かの長湯となりし菖蒲風呂

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

快速艇光蹴散らし風五月

神奈川県鎌倉市

米山信夫

(順不同)

入選句

子どもの部

しんりよくのにわうつくしきけんちようじ

神奈川県鎌倉市

時松 洸介

大仏も木々の緑に包まれて

神奈川県川崎市

滑川 翔太

鎌倉はあじさいだけでも楽しめる

神奈川県茅ヶ崎市

篠原 華穂

大仏は暑さにたえてすわってる

群馬県伊勢崎市

柳原 駿太

雨の中新緑見つつお茶を飲む

群馬県渋川市

五味 詩織

寿福寺の参道若葉美しき

群馬県前橋市

小林 和生

夏の寺歴史感じる波の音

埼玉県戸田市

井上 眞太郎

大仏のなかまで響く蝉の声

千葉県柏市

半澤 勲

山の上頼朝像に蝉が鳴く

千葉県柏市

古川 晶平

風ふいてゆらゆらゆれるふじの花

千葉県勝浦市

渡邊 翔太郎

鎌倉の山の緑と海の青

千葉県流山市

小林千鶴

夏の夕佐助稻荷の狐鳴く

千葉県松戸市

竹田遼平

長谷寺で海見てあびる夏の風

東京都足立区

佐野 丈

青蛙きみも大仏好きなのか

東京都新宿区

千住貞信

頼朝の無念が眠る夏の山

東京都杉並区

上 菌亮介

(順不同)